

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	「住み慣れた地域で」を念頭に事業所独自の理念を作り、掲示している。	○ 毎日の職務の中で、更に良い理念を考え継続して行く。
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	理念を共有し、毎日の申し送り・月1回の会議で話し合い確認し取り組んでいる。	○ 自己目標を掲げ評価をする(自分・職員間で)その上で、更なる向上のために取り組んで行く。
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	面会時や運営推進会議等で働きかけを行っている。みやすい場所に理念を掲示している。	○ 今後発行する広報誌の中にもきめ細かく織り込んでいく。
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	散歩以外でも、出勤・退出時に会った場合でも挨拶は欠かさない。出入りの取引先(業者)にも同様に行っている。	○ 地区の行事に積極的に参加する。敷地のアプローチ部分が殺風景と思われるので温かみのある看板や花を植えるなど、気さくな環境を作って行きたい。
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	年末の餅つきでは地もとの方々のお世話を頂き、大好評であった。その他、地元婦人部の踊りや、子供みこしなど、幼稚園児の施設訪問などがあり、その都度楽しみにしている。	○ 地域幼稚園・保育園や小学校などに働きかけ交流の場を作っていきたい。歌や踊りなどボランティアの方々を招き地域の人々にも来て頂くような行事を設けたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	未だ実施していない。利用者への支援が主体である。	○	先ずは、地域交流の充実を図る。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価をしてみたの感想であるが、向上・改善のためにとっても重要な意味を持つ機会であると思う。	○	開所した当初は、職員各々が手探りで行っていた部分もあった。他職員は勿論のこと、第三者よりの評価を活かし、今後のサービス向上につなげていけるようにしたい。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	昨年の12月に第1回目の会議を行った。その後、2月・4月に開催したが、6月の予定でしたが、大地震があり、7月に行っている。	○	意見・感想を真摯に受け止め、前向きに取り組んでいく。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる			
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	大筋では理解している。	○	勉強会・研修会等に参加する機会を持ちたい。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の重要性を理解し徹底している。	○	言葉や心理的な虐待も見逃す事無く徹底していく。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分な説明を行うことが出来るよう努めている。	○	今後も誤解を受ける事がないように説明できるように心がけていきたい。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	職員が利用者から見聞きした事、気づいた事は申し送りノートを活用し、また、口頭でも報告している。外部には特に行っていない。	○	意見箱などを設け、もっと自由に意見・不満・苦情を受け止められるようにする。日常的に表情・会話にも十分に気を配るようにする。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	実施している	○	今後も継続して行く
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族アンケートを行っている。面会時には複数の職員が対応し、意見を伺っている。	○	苦情処理に関する勉強会を開催したり、今後も家族アンケートを継続して行きたい。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	実施している。会議以外の場でも折に触れ意見希望を話しやすい雰囲気を作り出すように努めている。	○	話しやすい場を提供できるように今後も努めていく。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	実施している。	○	家族対応の受診予定であっても、都合悪くなったりした場合など、対応できる職員を確保している。
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	努力している	○	人員が欠けた場合等については早急に職員の補充が出来るように努めている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>実施している。研修報告・勉強会の機会がある。職員間でもお互いにアドバイスや指導が出来ている。</p>	<p>○</p> <p>外部研修へ参加したり、内部での勉強会などの充実を図る。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>		<p>○</p> <p>交換研修や意見交換会などの機会を設けるようにしていきたい。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>職員は、利用者の状況に応じて、その場を離れまとまった休憩が取れるように指導している。</p>	<p>○</p> <p>継続していく。</p>
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>日常の業務の中で気づいたことは励ましやアドバイスできるように努めている</p>	<p>○</p> <p>継続していく。</p>
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>話をよく聞く事が出来るように体制作りをしたり、毎日利用者の顔を見ながら話ができるように努めている。</p>	<p>○</p> <p>継続していく。</p>
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>話しやすい雰囲気作りが出来るように努めている。</p>	<p>○</p> <p>継続していく。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている			
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している			
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	戦争や天災を乗り越えて現在に至る人生の大先輩として尊敬している。季節や地域の慣わし・行事・調理法・言葉遣い等学ぶべき事はとても多い。私たちは利用者に寄り添い・傾聴・共感しながら過ごしている。	○	更なる向上・継続して行く。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	それぞれの事情がある事から、深く入り込まないでいるケースもある。	○	ホームの行事への参加を働きかける。入居時以来、足が遠のきつつある家族もあるので、広報誌や受診時の対応で利用者の近況を詳しく話す時間を作る。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	面会時、近況報告の他に利用者と同席して家族と楽しい会話になるよう口添えしている。	○	本人の帰宅願望がある場合(殆どの利用者が該当)月に一度とか決まった期日に家族が連れて行く機会を設けたい。家に帰るとホームに戻りたがらない、後を追うから…と躊躇する家族もあるが、その後のケアは自分たちの仕事であるから!と、どんどん勧めたい。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	近所の方、茶飲み友達の面会もあるので、本人との関わりを継続できるように対応、支援している。面会人・本人の情報を共有し、職員が同じように対応できるように努めている。	○	ふるさと訪問。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	実施している。	○	継続していく。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている			
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常の会話から希望・意向を汲み取るように努め支援できるようにする。	○	家族からの要望も受け入れ、その人なりの暮らし方を支援していく。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	サマリーの把握。本人家族からの情報を得て、職員間で共有している。	○	継続していく。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日々、申し送りや情報交換しながら、快適な日常生活を送ることが出来るように支援している。	○	継続していく。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	月の会議で話し合い、意見を出し合っている。	○	継続していく。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	月の会議で話し合い、意見を出し合っている。	○	継続していく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	申し送りノート・日誌・ケース記録・及び口頭で情報を確認し共有している。また、以前の記録も折に触れ再確認する事で状態の変化が把握できている。	○	ただ長く記録するのではなく、ポイントを把握して要点を簡潔にまとめられるように取り組んでいきたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている			
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している			
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている			
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している		○	一人一人の状況に応じて地域との連携を図れるようにしていきたい。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	特別な事態でない限りは、受診は家族対応となっており、その都度、日々の様子等を家族に報告し担当医に伝えていただけのように支援している。	○	今後も継続して行く。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	状況によってであるが(他利用者への暴力などが続いた場合等)専門医を照会・受診を勧めたりしている。	○	
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	隣接する施設に看護職員が常勤しており利用者の健康管理や職員の指導も行っている。	○	継続していく。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	実施している。	○	継続していく。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	実施している。	○	ターミナルに関する指針を職員全員で把握し、理解し共有できるようにしていく。かかり付け医との連携を蜜にする。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	今後、起こり得る事を想定し検討している。	○	かかり付け医との連携を蜜にする。
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	尊敬の気持ちを忘れる事無く接している。従って誇りを損ねる声かけはしていない。	○ 更に徹底、継続
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	業務(清掃・記録・炊事など)に追われる事無く、利用者に接するよう努めている。非言語でのコミュニケーションも重要であるので、表情や声量に気配りしている。自己決定できる場面を多く作るように努めている。	○ 継続していく。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務(清掃・記録・炊事など)に追われる事無く、利用者に接するよう努めている。非言語でのコミュニケーションも重要であるので、表情や声量に気配りしている。自己決定できる場面を多く作るように努めている。	○ 継続していく。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	支援している。	○ 継続していく。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人一人が出来る事で参加されている。声がけしなくても自発的に行われる方もいる。買い物も利用者に一緒に行って頂きカートを押したり荷物を持って下さったりしている。	○ 継続していく。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	飲酒・喫煙の希望は今現在はない。牛乳は駄目という方が居りますので、ココア・紅茶・緑茶など個々の好みや希望に応じて提供している。	○ 継続していく。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	プライドを傷つけない声かけでトイレ誘導している。失禁の場合でも、まずは便座に座っていただいている。排泄のパターンを把握して、毎日の確認を行っている。	○	継続していく。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴を好まない利用者には気の合う利用者と一緒に入浴を勧めるなど工夫して入っていただけるようにしている。デイサービスの支援により、大きな浴槽の入浴のほうが温泉気分が味わえると好評である。希望時に対応できるよう努めている。	○	継続していく。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	居室では落ち着かれない時等状況に応じて和室スペースに寝具を移し休息していただいている。すぐ眠れない様子の際は照明を落とし傍らで静かに会話するなど安心できるよう支援している。	○	継続していく。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	好きなレク、そうでないレクがあり、参加されていない利用者には別の職員が付き別の過ごし方をしている。散歩・ドライブなどの希望には柔軟に対応できている。	○	継続していく。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族と話し合い了解されている。お小遣いはホームで預かっているが、本人が持っているケースも中にはある。	○	今後もトラブルのないように留意して行きたい。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩には会話しながら満足行くまで付き添っている。ドライブ中に喫茶を楽しむ事もあり、生き活きた表情が見られる。	○	季節の移ろいを見たり、行事への参加など、心身の活性化につながる機会を更にふたして行きたい。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族との連携により、外出出来るようにしている。また、家族の協力によりふるさと訪問などを実施している。	○	今後も継続して行く。また、新たなことを考えてやってみたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	実施している。家族から電話が来たり、こちらからかけたりしている。	○	今後も継続して行く。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	実施している。明るい笑顔で対応している。	○	継続していく。
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	行った事はない。	○	今後も行うことはない。在ってはならない事だと各々が認識している。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室には鍵をかける事はしていない。玄関には極力かけず、外出時などは必ず同行している。	○	玄関に鍵をかけない取り組みを今後も検討していく。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	実施している。本人のプライバシーに配慮しながら所在の確認をしている。	○	継続していく。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	利用者の状態に合わせて取り組んでいる。危険な物品の使用には必ず職員が付いている。	○	継続していく。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ヒヤリハットレポート・事故報告書を十分に検討し配慮をしている。	○	リスクマネジメントに関する勉強会を行う。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている		○	救命救急講習などにより知識の向上・訓練の継続を図る。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている		○	避難訓練を定期的に行う。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている			
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	一人一人の既往歴を把握し、状態変化を見逃す事無く情報提供している。	○	継続していく。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬状関連は看護師が解かり易くまとめ活用している。疑問には詳しく説明・指導してもらっている。	○	継続していく。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便状態を毎日チェックしている。対応には水分補給・運動・散歩などその人に合わせた方法を取っている。	○	継続していく。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の支援をしている。自分で出来ない方には一部介助して自分で出来るような支援をしている。義歯消毒は、家族に購入して頂きポリデントなどを使用している。	○	継続していく。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	実施している。	○	継続していく。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルを活用している。	○	感染症に関する知識を職員全体は得られるよう自己啓発と共に勉強会を行う。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	マニュアルを活用している。	○	手洗い・調理器具等の清潔を徹底して行う。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	施設でありながらも、一般家庭の雰囲気を作り出すように季節によって秋には干し柿を吊るすなど工夫をしている。	○	グループホームの看板や温かみのある案内板・花を植えるなど工夫をして行きたい。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間からの景色が季節感にあふれており日当たりも良いのでゆったりした空間になっている。加湿器使用時は静音モードに切り替えるなど、睡眠を妨げないように心がけている。昼下がりがりや夕食後は照明を少し落とし落ち着けるように配慮している。みないテレビを消すようにしている。	○	継続していく。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下に2ヶ所椅子を配置している。畳のスペースでは、本を読んだり洗濯物たたんだり、昼寝をしたりと多目的に活用されている。	○	居間で自分の席しか座らない方が居られるので自由につらいでいただけるように働きかけをする。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたものを一品でも良いので持って来て頂きたい旨を家族に伝えているが、中々伝わらないようであり、もっと働きかけが必要かと感じている。	○	家族への理解を深めていけるよう、その他別の手立てを検討して行く。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	清掃時には開口部を開け喚起している。着過ぎないように気を配っている。	○	継続していく。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	状態に応じて、シルバーカー・歩行器を使用している。手すりや掴まるものが各所にある。	○	身体機能が低下しないように支援が必要であるが、低下した場合の対応策を検討している。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	居室やトイレがわからなくなる方が居られ、動作や表情で察し誘導しているが、自立支援には繋がらないが、失敗して嫌な思いをするよりは良いのではないかと思いついている。	○	居室の標示やトイレの案内が目線より少し高い位置に設置してあるため、解かり易い位置に設置するようにした。状況に応じた対応を今後も検討して行く。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	居間の前面のウッドデッキを活用している。※干し柿吊るし・玉ねぎ吊るし・外気浴	○	継続していく。

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者の	
		<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいの	
		<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいの	
		<input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input checked="" type="radio"/> ①毎日ある	
		<input type="radio"/> ②数日に1回程度ある	
		<input type="radio"/> ③たまにある	
		<input type="radio"/> ④ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が	
		<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが	
		<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが	
		<input type="radio"/> ④ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が	
		<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが	
		<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが	
		<input type="radio"/> ④ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が	
		<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが	
		<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが	
		<input type="radio"/> ④ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が	
		<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが	
		<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが	
		<input type="radio"/> ④ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が	
		<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが	
		<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが	
		<input type="radio"/> ④ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての家族と	
		<input type="radio"/> ②家族の2/3くらいと	
		<input type="radio"/> ③家族の1/3くらいと	
		<input type="radio"/> ④ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ毎日のように
		<input type="radio"/> ②数日に1回程度
		<input type="radio"/> ③たまに
		<input type="radio"/> ④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている
		<input checked="" type="radio"/> ②少しずつ増えている
		<input type="radio"/> ③あまり増えていない
		<input type="radio"/> ④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が
		<input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが
		<input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが
		<input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
		<input checked="" type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が
		<input checked="" type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが
		<input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが
		<input type="radio"/> ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)